

1 ヒプロメロースカプセル

2 Hypromellose Capsules

3 本品はカプセル基剤として、「ヒプロメロース」を用いて
4 製し、一端を閉じた交互に重ね合わせることができる一対の
5 円筒体である。

6 本品はゲル化剤使用の有無とその成分を表示する。

7 **製法** 本品は「ヒプロメロース」に水を加え、加温して溶かし、
8 必要ならば「グリセリン」又は「D-ソルビトール」、乳化
9 剤、分散剤、保存剤、着色剤、ゲル化剤、ゲル化補助剤など
10 を加え、粘稠な液とし、温時成形して製する。

11 本品は必要に応じて滑沢剤を塗布することができる。

12 **溶解性及び液性** 本品1個(1対)を重ね合わせずに100 mLの三
13 角フラスコに入れ、水50 mLを加え、 37 ± 2 °Cに保ちながら
14 しばしば振り動かす。この試験を5回行うとき、いずれも15
15 分以内に溶ける。また、これらの液はいずれも中性又は弱酸
16 性を呈する。

17 **乾燥減量** (2.41) 2~7%(1 g, 105 °C, 2時間)。

18 **微生物限度** (4.05) 本品1 g当たり、総好気性微生物数の許容
19 基準は 10^3 CFU、総真菌数の許容基準は 10^2 CFUである。

20 **貯法** 容器 密閉容器。

21

22

23